

## 施策 1：農に親しむ取組の推進

### ① 良好な農景観の保全事業

#### 12 農景観を良好に維持する取組の支援

農地の環境寄与面等を評価し、地域の農地の管理を行う農業者団体に対して「集团的農地の維持管理奨励事業」による支援を行うことで、良好に維持されている農地の保全を図っています。

##### ■ 集团的農地保全団体支援事業

- ◇ 集团的農地を維持管理する地域農業者団体に対して支援を行うことにより、組織の活性化を図り、良好な農景観の保全を図りました。（写真1）

\* 良好に維持されている農地の面積 704.3ha  
(52 団体) …①



【写真1】青葉区内の農地

##### ■ 公益施設維持管理奨励事業

- ◇ 農地に面した道路・水路の清掃や草刈りなど、公益施設の維持管理活動を行っている団体に対して支援を行うことにより、地域の環境保全を図りました。（写真2）

\* 公益施設維持管理活動実施団体 46 団体  
(①の 52 団体中)



【写真2】農業者団体による水路清掃（瀬谷区）

##### ■ 農の散歩道育成事業

- ◇ 農地縁辺部のあぜ道や土手などに、景観植物を植栽・管理する団体に対して支援を行うことにより、農村風景を保全し、農景観の向上を図りました。（写真3）

\* 景観植物植栽・管理団体 5 団体  
(①の 52 団体中)



【写真3】地区内でサルズベリを植栽（金沢区）

平成26年度横浜ふるさと村設置事業

## 舞岡ふるさと村奨励事業(市民交流事業)実施状況写真



掘取り畑案内看板の例

平成26年度横浜ふるさと村設置事業

# 舞岡ふるさと村奨励事業(市民交流事業)実施状況写真

【たけのこまつり】(H26.4/19~4/20)



(承諾を得て撮影しています)

# 農ある横浜めぐりツアー「横浜農業探検隊」実施報告



## 第1弾 浜なしと浜ブドウ 平成26年8月22日(金)実施

募集定員 30名 応募 27名

神奈川県菅田町(菅田羽沢農業専用地区内)横浜駅からバスで菅田羽沢農業専用地区をめぐり、浜なしとブドウの生産現場を見学しました。

農業専用地区制度の説明や果樹栽培の話だけでなく、生産農家の栽培にあたり苦労した話や思いなどを聞きながら収穫をすることで横浜の農業に対する理解を深めていただきました。

### 参加者アンケートでの意見

- ・スーパーで買うのが当たり前だと思っていたけど、農家の話を聞いて、地産地消、直売所って大切だと思った。(40代)
- ・神奈川区にこんなに農地があるとは知らなかった、個人では直売所や農家さんにいけないので楽しかった。(30代)
- ・畑がきれいに整理されていて農家が手間を惜しまずに手をかけているのがわかった。(40代)
- ・ブドウについては少し値が高いような気が…(60代)



## 第2弾 サツマイモ 平成26年9月20日(土)実施

募集定員 100名 応募 50名

JA 横浜と共催で下飯田駅からほど近くの農産物の生産現場を見学し、サツマイモの掘り取りを行いました。下飯田駅前では、市内産サツマイモをふかし芋にしてめぐりツアー参加者及び地下鉄利用者に配布しました。

また、市内農産物の流通現場である、泉区役所と農業協同組合との協働で開設した泉区ファーマーズマーケットを見学していただきました。

### 参加者アンケートの意見

- ・子供が、作物が畑で生産されていることを実感できてよかった。畑の状態もよく、イモも上出来でした。(30代)
- ・サツマイモの栽培・収穫方法についてもっと農家の方の話が聞ければよかった。(60代)
- ・体験水田はやったことがあったが、サツマイモは初めて。ふかし芋がおいしくとても印象的だった。(40代)



第3弾 バスで行く！

# 横浜農業探検隊

～ようこそ 横浜農場へ～

～「横浜農業探検隊」とは？～

地域の農業を市民の皆様にご覧いただくため、市内の農地をめぐり、実際に見て体験していただき、横浜の「農」を発見していただく取組です。

**2/22(日)** ※小雨決行

横浜のイチゴも  
紹介します。

## ツアー内容

- ・ 農業専用地区、生産農家の紹介
- ・ 直売所の紹介 (都筑区東方町)
- ・ **イチゴ**の収穫体験 ※30分時間制 (神奈川区羽沢町)

集合時間 / **午前8時30分**(12時解散予定)

集合・解散 / **横浜駅西口天理ビル前**

定員 / **20名程度**(抽選)

申込期間 / **2/2(月)～2/13(金)**

はがき又はメールで申込み

参加費 / **イチゴの収穫体験費** ※当日支払  
(小学生以上/1,700円 未就学児/900円 2歳以下/無料)

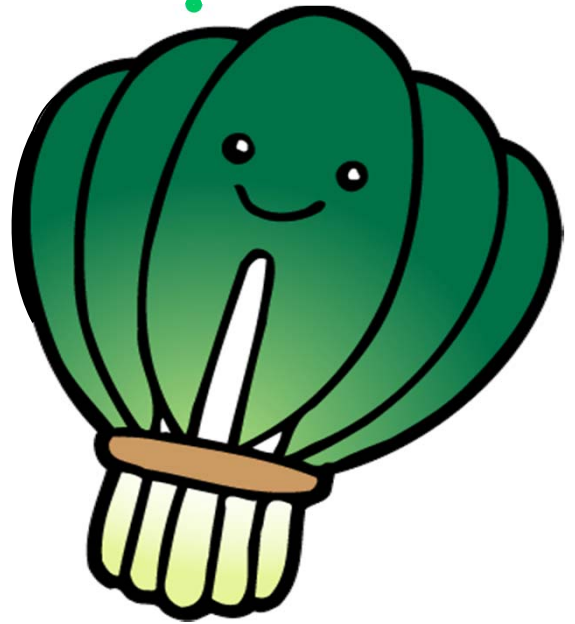
持ち物等 / 飲み物、汚れてもよい服装、雨具等

ヨコハマの農業を学び、農家の情熱を肌で感じる。

収穫体験だけじゃない！

横浜の農業を知りたい！

そんな方の参加をお待ちしています。



問合せ先：横浜市環境創造局  
農地保全課地域づくり担当  
電話：045-671-2634  
FAX：045-664-4425

## 【報告】第2回 横浜・食と農のフォーラム 横浜の未来に向けた「農」や「地産地消」の可能性について

「横浜市の都市農業における地産地消の推進等に関する条例」（平成27年4月1日施行）の施行にあわせ、市内産農畜産物等やそれらを利用した製品のブランド化、さらにその魅力を市内外に戦略的に発信していくための方向性を探るためにフォーラムを開催しました。

- 開催日時：平成27年2月4日（水）14時～17時
- 場 所：ヨコハマ創造都市センター3F
- 来場者数：150人
- アンケート結果：回収数 58人（回収率39%）一部項目未回答含む  
94%に近い方が、「とても満足」、「まあ満足」と回答。

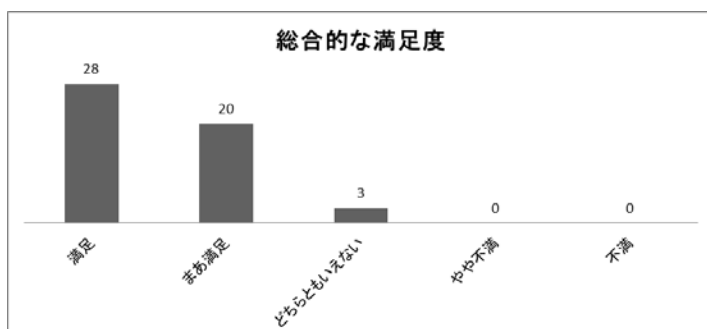
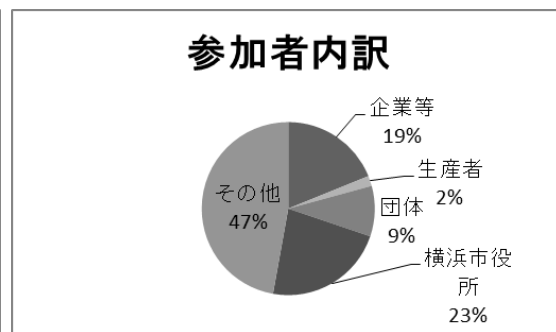
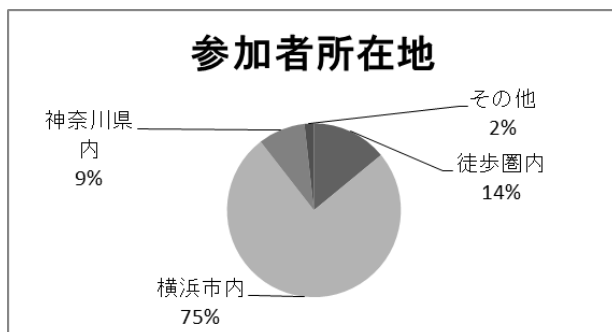


### （肯定的意見）

- ・横浜の地産地消、いまいちピンとこなかったが、色々な動きがあることが知ることができました。
- ・農業という一般市民から少し遠めの産業に近づき、つながっていける素敵なイベントでした。
- ・横浜の農が変わると思います。
- ・異業種の方の見方、考え方が大切だと従来から考えていたところなので、参考となりました。
- ・食と農は大切な人の営みであるということに改めて気づかされました。
- ・主婦の立場で参加したが、深い。食だけでなく農家の生き方が今の世の中に必要だと思います。

### （否定的意見）

- ・農家の意見がもっとほしい。
- ・農産物のブランド化などテーマを絞って議論していくと良くなると思う。
- ・表題が大きく、最終的に焦点がぼけてしまったように思います。



## 1 第一部 基調講演

NOSIGNER（ノザイナー）株式会社 代表取締役 太刀川英輔 氏

### 題目「あなたが地域を輝かせる10のヒント」

世界的に活躍するデザイナーである太刀川氏から、自らの経験や体験を元にした10のヒントを挙げていただき、ブランド化やイノベーションに向けて、一人ひとりがどのような取組みができるのか講演をしていただきました。

#### 10のヒント

- ①経験を考えるな、初めてでもやってみる
- ②最初に最高を学べ、そして超える
- ③理想から逆算せよ
- ④周囲は全て学べ
- ⑤体験をシフトさせろ
- ⑥似ている現象を応用しろ
- ⑦多様で小さなチームを作れ
- ⑧問いを拡大しろ
- ⑨我欲を超える大きな欲を持つ



## 2 第二部 トークセッション

太刀川英輔 (NOSIGNER 株式会社 代表取締役)

加藤之弘 (野菜生産者)

新田理恵 (食卓研究家)

ファシリテーター

杉浦裕樹 (NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ 代表理事)



トークセッションでは、市内を中心に食・農関連で活躍する方たちと太刀川氏の対話で「農」や「地産地消」が横浜の魅力の一つになるためには、何ができるのか議論を深めました。登壇者の取組みをヒントに、「農」と様々な分野（教育や暮らしなど）とのつながりの可能性やWEBなどを使った発信方法、生産から販売までのプロモーションの検討など多くの話題があがりました。

最後は、参加者を交えた質疑応答を実施し、登壇者と参加者間での活発な意見交換が行われました。

## 3 第三部 交流会

講演者をはじめとして、参加者同士も含めて交流（名刺交換等）を行いました。

## 4 関連事業「green drinks yokohama vol.17 食・農×クリエイティブ」(後援)

開催日時：平成27年2月4日（水）17時～20時30分

場所：ヨコハマ創造都市センター1F

主催：グリーンドリンクス横浜実行委員会

食と農に関連する方のほか、横浜で活躍するクリエイターなど様々なジャンルの人が集まり、ゲストトークやブースによるミニマルシェなどが開催されました。

# みどりアップ計画 市民や企業と連携した地産地消の展開 企業等との連携について

## 1 よこはま食と農の祭典 2014～ようこそ横浜農場へ～

### (1) 概要

日 時：平成26年11月15日（土） 12:00～17:00

場 所：メイン会場…みなとみらいクイーンズサークル（クイーンズスクエア横浜1階）

サブ会場…マークイズみなとみらいえきまえ広場（マークイズみなとみらいB4階）

来場者数：推定6,000人

### (2) 実施内容等

- ・今年にはビンゴ大会・クイズ大会等のステージイベントに加えて、初の取組として料理人が用意した地元食材を使った逸品の試食ができるブース、花の寄せ植え教室のブースなど、ブース形式での実施を試みました。トラクターの展示も行いました。



## 2 そごう等との連携によるマルシェの開催

### (1) 概要

日 時：平成26年4月19・20日、7月5・6日、11月2・3日

10:00～17:00

場 所：「横浜駅東口はまテラス」/そごう横浜店 2階屋外広場（風の広場）

連携先：横浜駅東口はまテラス有効活用委員会（事務局：横浜新都市センター(株)）

主 催：横浜地恵地楽マルシェ実行委員会

協 力：横浜新都市センター(株)、(株)そごう・西武、そごう横浜店、(株)横浜スカイビル

トータルレジ客数：2,280人

### (2) 実施内容等

- ・市内産野菜や市内産農畜産物を使用した物品の販売を通じて地場産品をPRしました。
- ・市内各区役所へ「ゆるキャラ」の着ぐるみ貸出協力を得て、ステージイベント等を開催しました。
- ・各商業施設等でマルシェ開催のPRに協力していただきました。





### 3 山崎製パン(株)との連携による新商品の企画及びPR

#### (1) 概要

市内産じゃがいもを使用した

「ランチパック(横浜産じゃがいものポテトサラダ)」

販売期間:平成26年10月1日~約3か月

販売エリア:横浜市域をはじめ1都6県のスーパー・コンビニ

販売数:約40万個

※包材に横浜ブランド農産物「はま菜ちゃん」のマーク及び「横浜農場」を入れていただきました。



### 4 東京ガス(株)との連携による「地産地消・食育」をテーマとした料理教室の開催

#### (1) 概要

日時:平成26年11月27日(木) 11:00~14:00

場所:東京ガス横浜ショールーム(マークイズみなとみらい4階)

来場者数:47名(当日キャンセル1名)

(※定員が48名でしたが、事前申込の電話は100件以上ありました)

共催:横浜市、東京ガス横浜支店

協力:(株)鈴音<横浜霧笛楼>

#### (2) 実施内容等

- ・旬の農産物をたくさん使用した「横浜ポトフ」のレシピなどを御教示いただきました。
- ・今平シェフに地元食材や地産地消に対する熱い思いをお話いただき、参加者に横浜の農業について興味をもってもらうなど、大変好評でした。



### 5 JR東日本との連携による横浜線沿線でのマルシェ開催等

#### (1) 概要

ア 横浜中央北口 マルシェ

日時:平成26年10月6日~8日 11:00~17:00  
以降、毎月第4火曜日に定期開催

場所:JR横浜駅中央北改札内

運営者:(株)JR東日本リテールネット

販売者:(有)ナチュラルレ・ポーノ(よこはま地産地消サポート店)

レジ客数:1,526人

イ 横浜西口 ルミネ マルシェ

日時:平成26年10月11日 11:00~17:00  
以降、毎月第2土曜日に定期開催

場所:ルミネ横浜 西口ルミネイベントスペース内

運営者:(株)ルミネ横浜

販売者:よこはまふうどマルシェ実行委員会

来場者数:1,242人

#### (2) 実施内容等

- ・市内産の野菜や果物、惣菜、横浜の特産品などを販売

